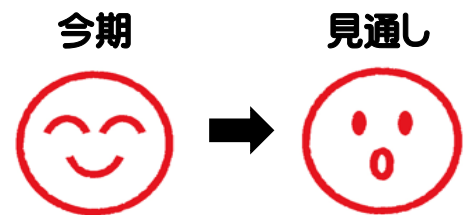


# 建設業

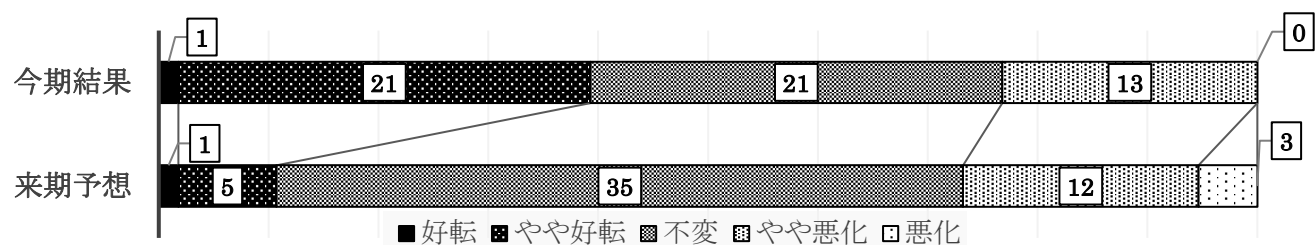


## ■丹波市の景況推移

公共工事は、国や県の入札が一段落し少ない状況が続いている。また、オリンピックの影響もあり、資材の価格が高止まり状態となっている。



## ■丹波市の景気動向



## 【今期の景況】

良いと答えた企業が悪いと答えた企業を上回った。鉄金関連において、冬の雪害による鉄金工事が集中しているとの回答があった。また、住宅関連は引き続き好調であり、関連企業にも良い影響を及ぼしている。

## 【来期の景況予想】

悪化と回答する企業がやや増加。造園業では、盆に向けて剪定などの需要が高まる為、受注が増加すると見込んでいる。新日赤病院の建設については、分業入札ではない為、施工業者が普段から付き合いのある事業所に外部委託するため、外注として市内企業が入りにくいとの声もある。

## ■全国の景気動向

前回と比べるとほぼ横ばい。五輪関連や主要駅前再開発などに加え、民間設備投資が活発であり、これから本年度の公共工事の入札案件が見込まれる。一方、人手不足は解消されておらず、仕事が来ても頼めるところが無い場合や、建設重機等が逼迫し、原価の上昇も懸念される。

## ■県下の景気動向

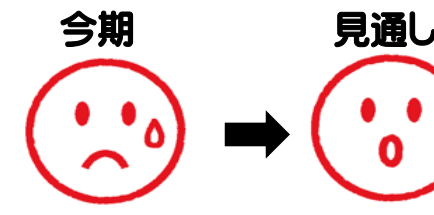
国土交通省によると、4月の住宅着工件数は87,456戸で、前年同月比では1.7%増となった。住宅設備関係の売上は、新築戸数が上向きつつあり、前年度より改善している。リフォーム関連業者については、他の市街地へ展開するなど、業界自体が活発に動いている。

## ■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	4	1	4	2	2	14	25.9%
不変	0	8	2	8	1	4	23	42.6%
悪い (悪化+やや悪化)	3	4	5	1	4	0	17	31.5%
合計	4	16	8	13	7	6	54	100.0%

# 製造業

平成29年4月～6月期調査

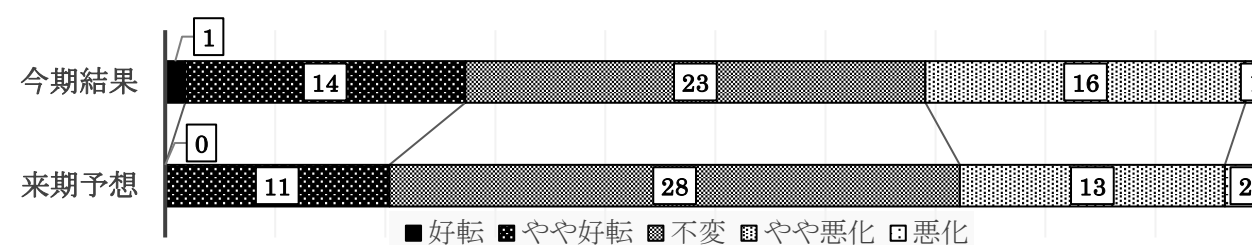


## ■丹波市の景況推移

昨年同期と比べて、取引先からの受注量の減少や人材不足が懸念されているが、D.I. 自体は12.5ポイント改善している。



## ■丹波市の景気動向



## 【今期の景況】

前期と比べ悪いと回答した企業が増加。やや良いと回答した中には、自社ブランドを持つ事業所が多かった。一方で、エンドユーザーに関連する事業所では悪いとの回答が多かった。

## 【来期の景況予想】

調査先の半数が不変と回答。例年8月は休暇等により生産調整が実施されるが、資金繰りの悪化を懸念する事業所は比較的少なかった。

## ■全国の景気動向

前回と比べわずかに改善。半導体やロボット関連が活況で、それに関する受注が増えている。今後もIoTやAI、ロボットなどで半導体市場の活況はしばらく続くと予想される。原材料の上昇については、上昇分を製品転嫁できている業種がなかなか無い状況である。

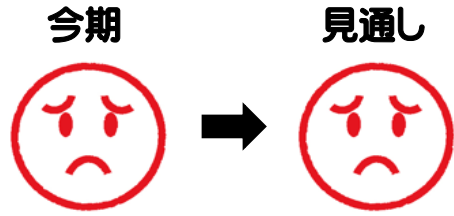
## ■県下の景気動向

全体的に仕事量は増えており、景況感は回復しつつあるとの見方が強い。今後好調を維持していく為にも他の業種同様に人材の確保が重要となる。また、食料品、ゴム関連では為替の影響や原油価格の上昇の懸念もあり、収益の悪化を懸念する声もある。

## ■地区ごとの回答(前年同期比)

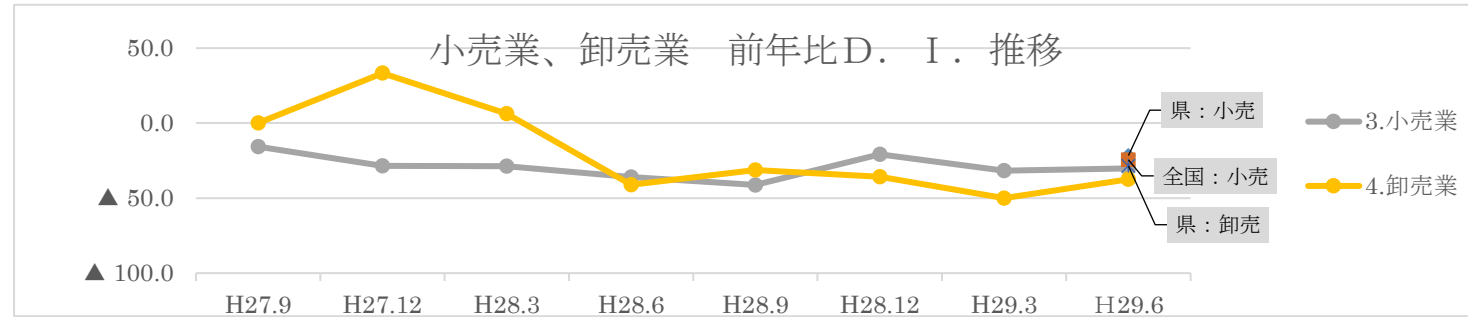
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	4	1	2	6	3	17	30.9%
不変	1	5	3	3	7	2	21	38.2%
悪い (悪化+やや悪化)	3	4	3	2	3	2	17	30.9%
合計	5	13	7	7	16	7	55	100.0%

# 小売、卸売業

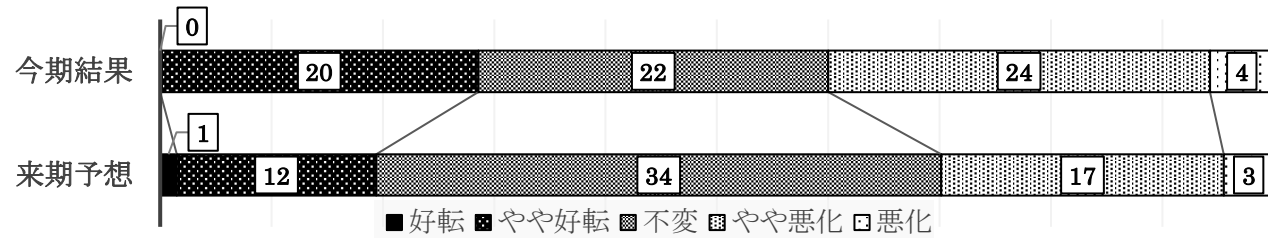


## ■丹波市の景況推移

小売・卸売業共に厳しい状況が続いている。特に石油小売については、若者の車離れや、エコカーの増加により、売上の悪化が続いている状況。



## ■丹波市の景気動向



## 【今期の景況】

自動車販売関連の販売から、車検や修理につながることが出来ている企業については、回復しつつある。一方酒類販売業においては、6月から酒税が上がったが、周りの店舗が値上げしていないこともあり、価格転嫁できず、収益が悪化していると報告があった。

## 【来期の景況予想】

全国チェーンのコンビニエンスストアやドラッグストアの進出により、価格で対抗することが難しい事業所からは顧客がそちらへ流れる懸念があるとの声がある。一方、ふるさと納税の活用、新しい顧客の開拓、ニーズに合った品揃え等の取組みを行う企業においては好調を維持していく見込み。

## ■全国の景気動向

前月に引き続きわずかに改善。自動車の売れ行きが伸びており、自動車小売や自動車関連の鉄鋼卸売が好調であるとの回答が目立った。また、五輪関連の特需に期待するとの声も引き続き高まっている。しかし、原料高騰による収益の悪化は慢性化している状況にある。

## ■県下の景気動向

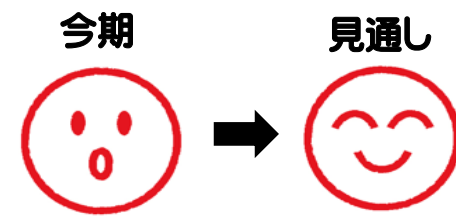
前月と比べ、食料品では小幅な悪化であったものの、衣料品では小幅な改善、耐久消費財では大幅な改善が見られた。しかし、耐久消費財では家庭用クーラー、エアコン等特定の季節になると需要が高まる季節家電の出足が例年と比べ鈍いと報告があり、来月以降も改善が継続するかは先行きが見通せない。

## ■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	7	0	3	0	0	12	17.1%
不変	5	9	3	3	4	1	25	35.7%
悪い (悪化+やや悪化)	5	9	1	8	7	3	33	47.1%
合計	12	25	4	14	11	4	70	100.0%

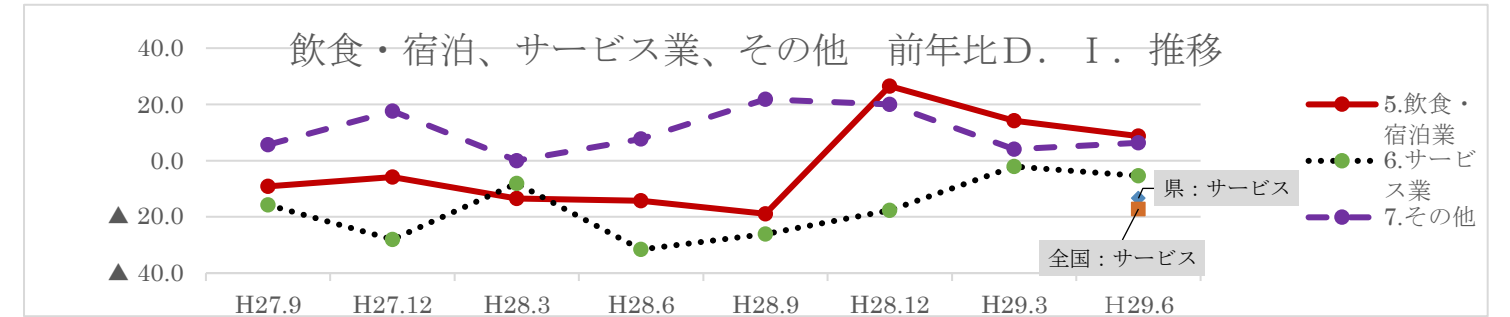
# 飲食・宿泊、サービス、その他業種

平成29年4月～6月期調査

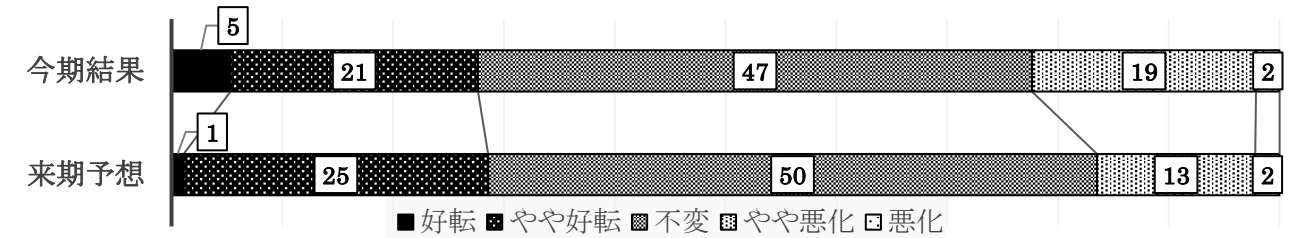


## ■丹波市の景況推移

飲食・宿泊関連は好調を維持している。特に農業関連の飲食や、農業の体験が出来る農家民宿などは人気が高く、都市部からも訪れる傾向にある。



## ■丹波市の景気動向



## 【今期の景況】

今期はゴールデンウィークの長期休暇に加え、梅雨時期の天候不良も少なかった為、好調に推移したとの回答が多かった。一方で、仕出し関連ではスーパーや大手チェーンのレストラン等の進出により、注文数が大幅に減少。仕入元である市場でも素材がなかなか売れないなど影響が出ている。

## 【来期の景況予想】

7月後半からの夏期休暇や、盆休みシーズンということもあり、飲食店や宿泊関連では順調に予約が取れている。今期悪かった仕出し関連においても、里帰りなどもあり、予約が取れている。しかし、盆以降の予約獲得までには至っておらず、大手とは異なった新たなPR方法などを検討する必要がある。

## ■全国の景気動向

前月と比較しやや悪化。東京五輪関連の特需や、IoTやAI等の影響により半導体需要が高まりつつあるが、仕事があっても人が集まらない状況が続いている。特に運輸業の人材確保難は有効な解決法が見られず、先行きの不安感が高まっている。

## ■県下の景気動向

全体としての景況感としてはゆるやかに回復しつつあるものの、投資体力は二極化している。雇用に関しては、技術者の不足がビジネス拡大における重要課題との認識が強く、新卒採用や中途採用増で対応していくものの、依然としてボトルネックになっている。

## ■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	4	9	2	3	7	0	25	27.5%
不変	8	10	5	7	5	5	40	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	6	8	3	2	4	3	26	28.6%
合計	18	27	10	12	16	8	91	100.0%